

はじめに

1. 熊本県地域医療支援機構理事長・病院長あいさつ



熊本県地域医療支援機構 理事長
熊本大学病院 病院長

馬場 秀夫

皆様方には、平素より熊本県地域医療支援機構、県の寄附による、「地域医療・総合診療実践学寄附講座」及び「地域医療連携ネットワーク寄附講座」の取り組みに、多大なご支援とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。この度、令和4年度の活動報告書を作成致しましたので、ご一読いただければ幸いに存じます。

熊本県地域医療支援機構は、平成25年12月に設置され9年目が経過しました。「地域医療・総合診療実践学寄附講座」は、設置から7年を経過しました。また、「地域医療連携ネットワーク実践学寄附講座」も、設置から4年を経過しました。そして、新興感染症、院内感染予防などに対応可能な感染症専門医の育成、メディカルスタッフへのリカレント教育を目的として、今年度から新たに「感染症対応実践学寄附講座」を設置し事業を展開しているところです。

さて、熊本県の医師数は全国的に見て医師多数県とよく言われますが、地域ごとの内訳を見ると熊本市内に医師の集中がみられ、熊本市以外の地域での医師不足はまだまだ解消されておらず、むしろ全国平均よりも少ない状況にあります。我々はこれから、この医師偏在の状況を解消するための取り組みを続けていく必要があります。特に地域においては深刻な人口減少と高齢化に加え、昨今のコロナ渦の中、地域住民に適切な医療サービスを提供するために各医療機関は非常に苦勞されている実情があります。

地域における持続的かつ適正な医療提供体制を確保するために、医師を派遣する立場の熊本大学病院と、医師の地域偏在の解消のための業務を実施する熊本県地域医療支援機構の両者の長として、熊本県と連携して取り組みを進める必要があることを、就任以来一貫して強く心に止めているところです。

新型コロナの猛威は4年度も引き続き、地域医療支援機構業務、寄附講座業務についても昨年度同様に当初の計画を中止、変更、縮小といった決断をせざるを得ない状況もあり、十分な取り組みが出来なかった面もありました。しかしながらオンライン配信等々の工夫で、事業の歩みを止めることなく、できることから一つ一つ着実に取り組んでまいりました。

本県の地域医療を取巻く状況が厳しい中、「熊本県地域医療支援機構」、「地域医療・総合診療実践学寄附講座」、「地域医療連携ネットワーク実践学寄附講座」が連携して、それぞれの役割を果たしながら、(1) 地域医療を志す医学生や地域医療に従事する医師のキャリア形成支援、(2) 地域の医療提供体制の確保に向けた支援、(3) 学生に関する地域医療マインドの涵養、(4) 総合診療医の育成、(5) 地域医療拠点病院を核とする圏域の医療機能の向上に向けた連携ネットワーク体制の構築、(6) 新専門医制度における修学資金貸与医師等のキャリア形成の支援等について、継続的に更に推進していくこととしています。また、感染症対応についても新たな寄附講座の設置により、今回の新型コロナの経験を踏まえて、医師の育成・教育活動を展開しております。

今後とも熊本県、医師会、市町村並びに地域医療関係者などの関係諸団体との連携をさらに強化し、県内各地のニーズに沿った地域医療が提供されるようなお一層努力してまいりますので、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(令和5年3月吉日)

2. 地域医療支援センター長あいさつ



熊本大学病院 地域医療支援センター長
熊本大学病院 総合診療科 教授

松井 邦彦

令和4年度の、熊本大学病院地域医療支援センターの報告書をお届けします。ご覧いただければ幸いです。

新型コロナウイルス感染症の流行がはじまり、早いものでおよそ3年が経過しました。大小の流行の波を繰り返し、私たちの日常生活の全ての面に多大な影響をもたらしました。これを書いている今、一時の厳しい状況は、ずいぶん昔のことであったような気がします。医療の現場も、大変な時期を乗り越え、通常に戻りつつあるようです。病院外ではマスクの着用も緩められるようになりましたが、発熱の患者さんがいらっしやると、やはり緊張が走ります。様々な要因が発熱をきたし得ますが、まずは新型コロナウイルス感染症の除外が浮かぶようになりました。

私たちの大きな使命の一つに、熊本県医師修学資金貸与制度(いわゆる地域枠)による、医学生や医師のキャリア支援があります。早いものでこの制度の第一期生の先生が、地域勤務の義務年限をほぼ終了するまでになりました。コロナ禍の中においても、県内地域の施設で働かれる先生方の数は、確実に増えつつあります。本制度が開始され、ここに至るまでに長い時間がかかったのは当初の予定通りですが、最近、地域枠医師の活躍への期待が以前にもまして大きくなっているのを感じています。今後もこのシステムを維持、発展させることで、熊本県内の地域医療の質向上へ貢献することを、確信しています。

県内地域での医師の偏在は、依然として大きな問題です。地域枠学生、医師の支援をさせていただく我々としては、当初の手探りであった状況から、対象者の具体的なニーズを察知し、安心して勉学や勤務に励んでいただくことが出来るよう、可能な限りの対応を行ってきたと自負しています。対象者が増えることは喜ばしい一方で、同時に様々な形、内容の支援が必要となってきました。我々は、一つ一つの問題に丁寧に対応していく所存です。

また熊大病院地域医療支援センターでは、熊本県の寄附講座である、地域医療連携ネットワーク実践学寄附講座や感染症対応実践学寄附講座に所属する先生方の支援も、併せて行っています。これについては、私たちに期待されている役割を、十分に果たしていると言えるまでに、未だ至っていないのが現状です。今後の課題として、より積極的な取り組みが必要であると感じています。

最後に、いつも私たちへご支援、ご指導をいただいている熊本県医療政策課の皆様方に、感謝を申し上げます。また県内地域の医療機関の皆様方、県医師会の先生方、そして最後に熊本大学病院の各診療科の先生方には、今後ともご理解とご支援を賜りますよう、よろしく申し上げます。令和5年度は、この数年間、コロナ禍のために出来なかったことが出来るようになり、ますます忙しくなりそうです。

3. スタッフ一覧

◆ 熊本県地域医療支援機構(熊本大学病院 地域医療支援センター)

松井 邦彦	地域医療支援センター長／総合診療科 教授
荒木 智	地域医療センター副センター長(地域医療・総合診療実践学寄附講座 特任准教授)
後藤 理英子	特任助教／糖尿病・代謝内分泌内科
高柳 宏史	特任助教／総合診療科
古賀 義規	客員研究員(御所浦診療所 所長)
片岡 恵一郎	客員研究員(小国公立病院 病院事業管理者)
松本 朋樹	客員研究員(医療法人社団孔和会 松本内科・眼科 理事長)
松岡 大智	地域医療支援コーディネーター
若杉 秀作	地域医療支援コーディネーター
高塚 貴子	女性医師復職支援コーディネーター
尾方 千穂	事務補佐員

◆ 熊本大学病院 地域医療・総合診療実践学寄附講座

荒木 智	特任准教授／総合診療科
佐土原 道人	特任助教／総合診療科
北村 泰斗	特任助教／総合診療科
山口 香	事務補佐員
山並 美緒	事務補佐員

◆ くまもと県北教育拠点(くまもと県北病院)

田宮 貞弘	熊本大学非常勤講師／総合診療科
小山 耕太	熊本大学非常勤講師／総合診療科
中村 孝典	特任助教／総合診療科

◆ 河浦教育拠点(天草市立河浦病院)

鶴田 真三	特任助教／総合診療科
-------	------------

◆ 熊本大学病院総合診療科医局員

武末 真希子	松田 圭史	空田 健一
平賀 円	永田 洋介	久保崎 順子

◆ 専攻医(熊本大学病院総合診療専門研修プログラム)

早川 香菜美	後期研修医5年目
下地 徹	後期研修医4年目
本田 宏介	後期研修医3年目
松岡 隼平	後期研修医2年目
西富 友哉	後期研修医1年目